



2026年度 1Q (2027年3月期 第1四半期) 決算補足説明資料

東亜ディーケーケー株式会社

2026年8月

■売上高：半導体関連市場への機器販売が増加、アフタービジネスも伸長し増収

（国内）主力の環境・プロセス分析機器は立ち上がりが遅れ低調も、産業用ガス検知警報器の販売増加及びアフタービジネスの伸長により増収
 （海外）台湾及び韓国の半導体関連市場への販売が好調で増収

■利益：増収により増益

（単位:百万円）

	2025年度 1Q実績	2026年度 1Q実績	前年同期比	
			金額	率
売上高	3,789	3,946	+156	+4.1%
営業利益 売上高比	57 1.5%	83 2.1%	+25	+43.9%
経常利益 売上高比	77 2.0%	100 2.6%	+23	+30.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益 売上高比	97 2.6%	56 1.4%	▲41	▲42.4%

計測機器事業（増収増益）

売上高	3,885百万円（4.2%増）
セグメント利益	304百万円（4.0%増）

- 国内売上高：機器販売は減少したものの、アフタービジネスが好調で増収
 - ①環境・プロセス分析機器：期首時点の受注残高の減少等の影響により減収
 - ②科学分析機器：販売が堅調で増収
 - ③医療関連機器：販売が減少し減収
 - ④産業用ガス検知警報器：半導体関連市場への販売が好調で大幅増収
 - ⑤電極・標準液／保守・修理／部品・その他：各分野が好調で増収
- 海外売上高：台湾及び韓国の半導体関連市場への販売が好調で増収
- 利益：売上原価率が労務費・原材料費の上昇の影響を受けたものの、増収効果により増益

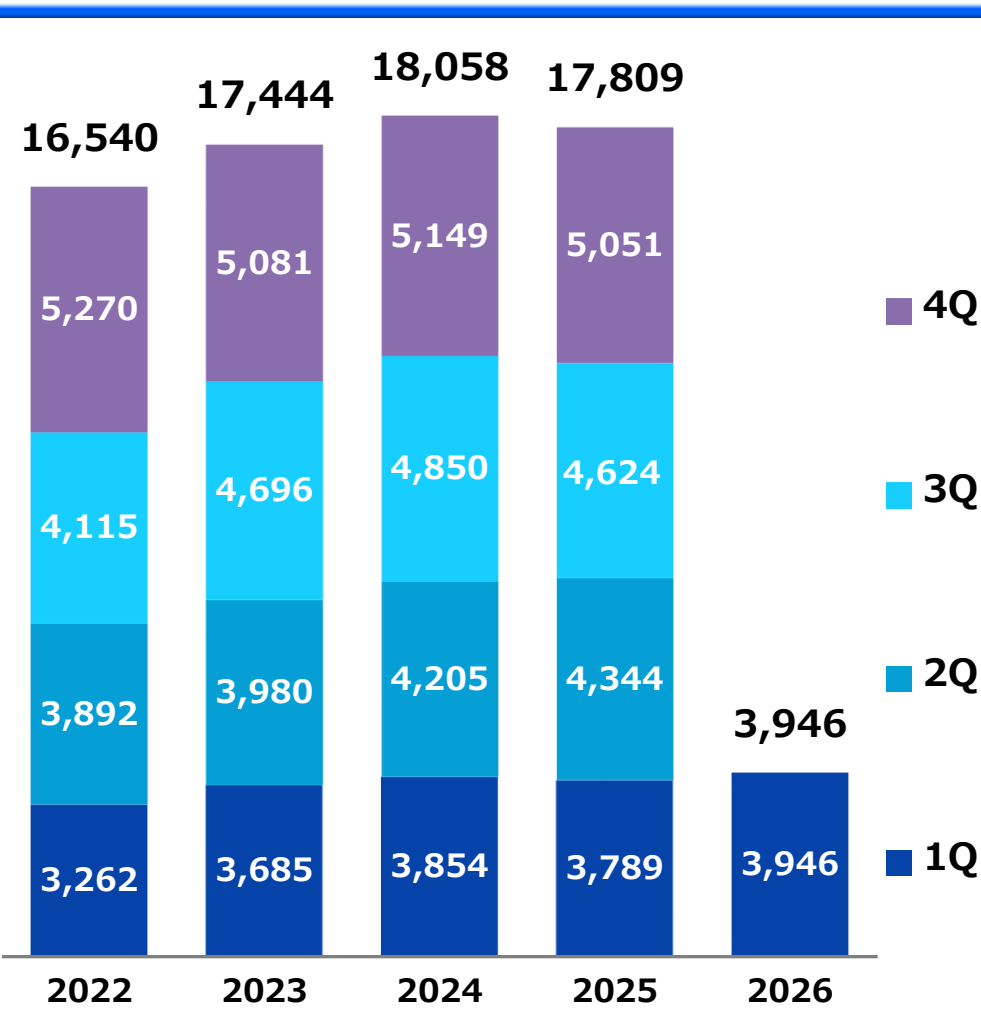
不動産賃貸事業（減収増益）

売上高	60百万円（0.2%減）
セグメント利益	34百万円（2.1%増）

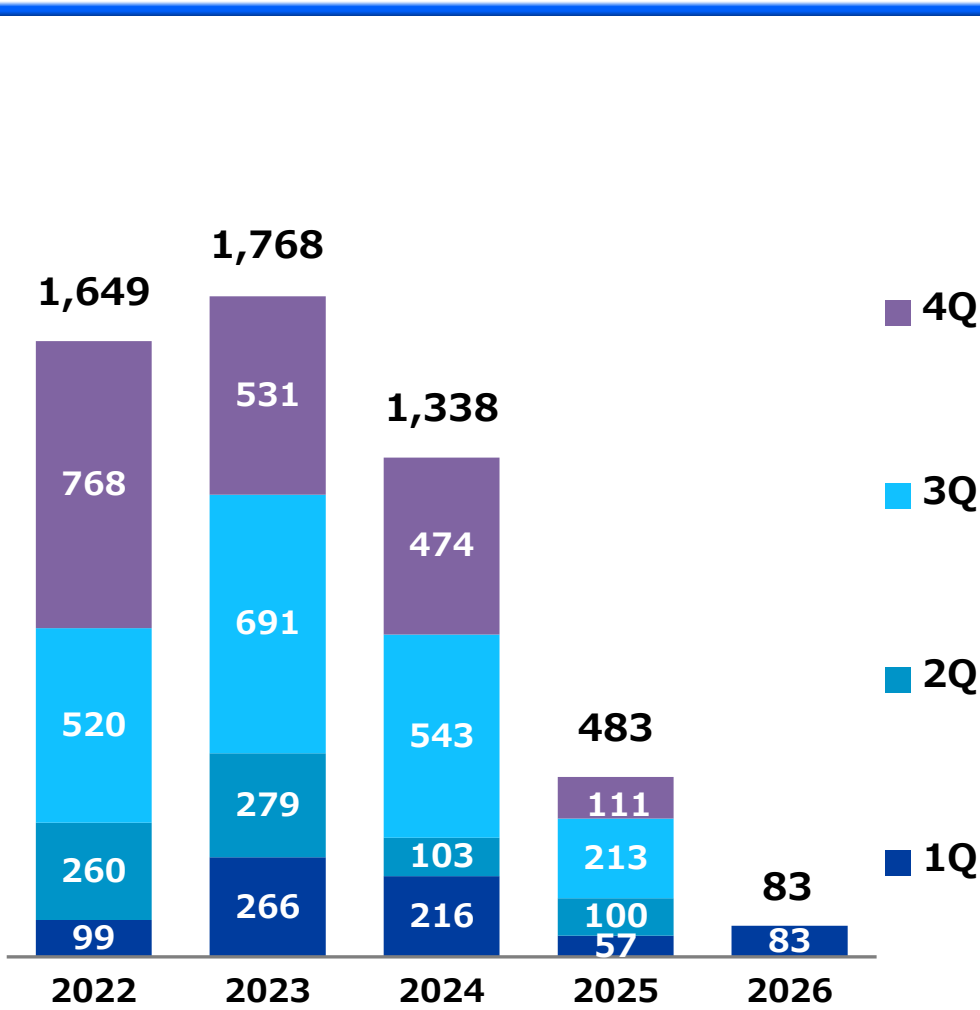
- 主な賃貸物件は、本社に隣接しているビル1棟と駐車場

(単位:百万円)

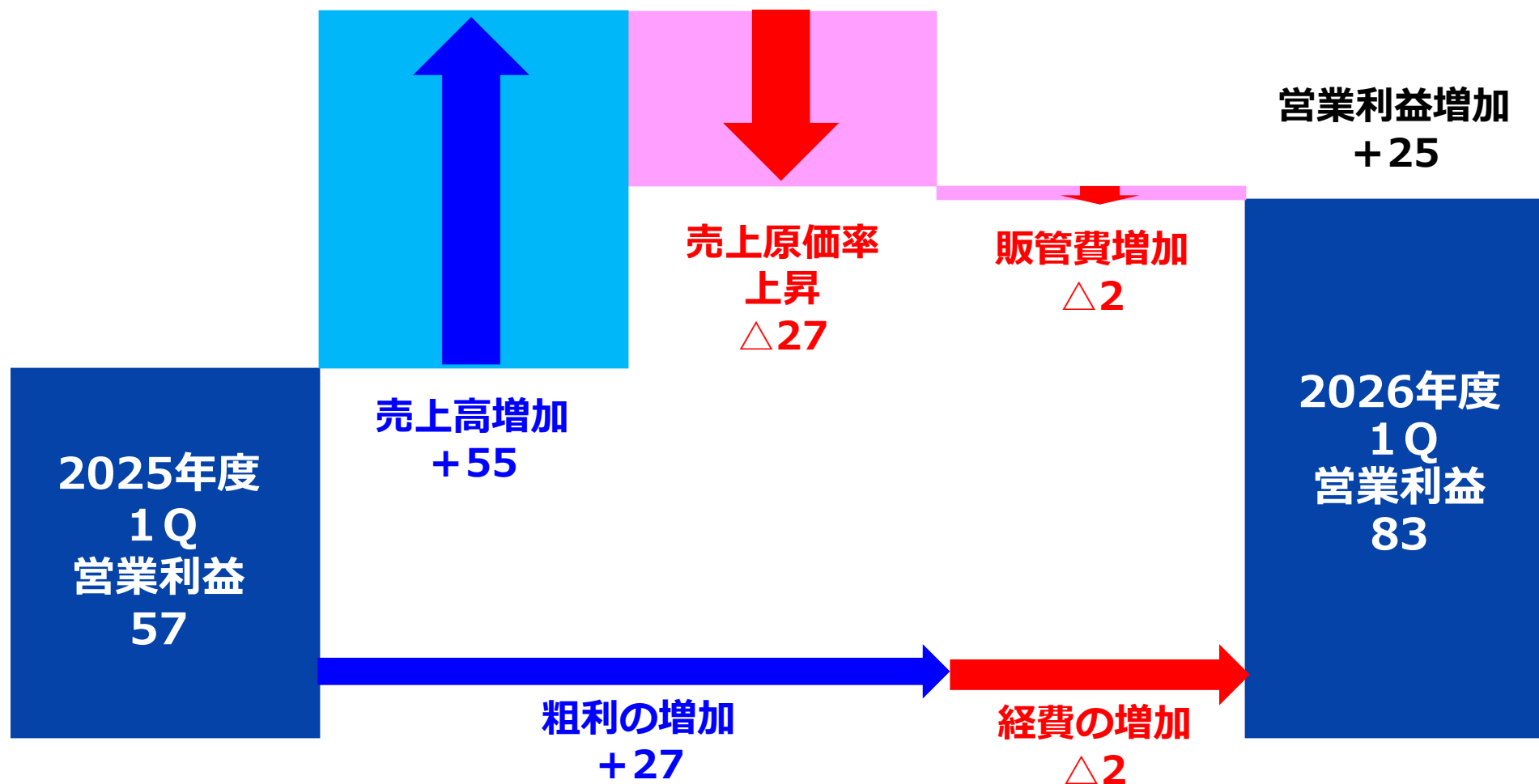
売上高



営業利益

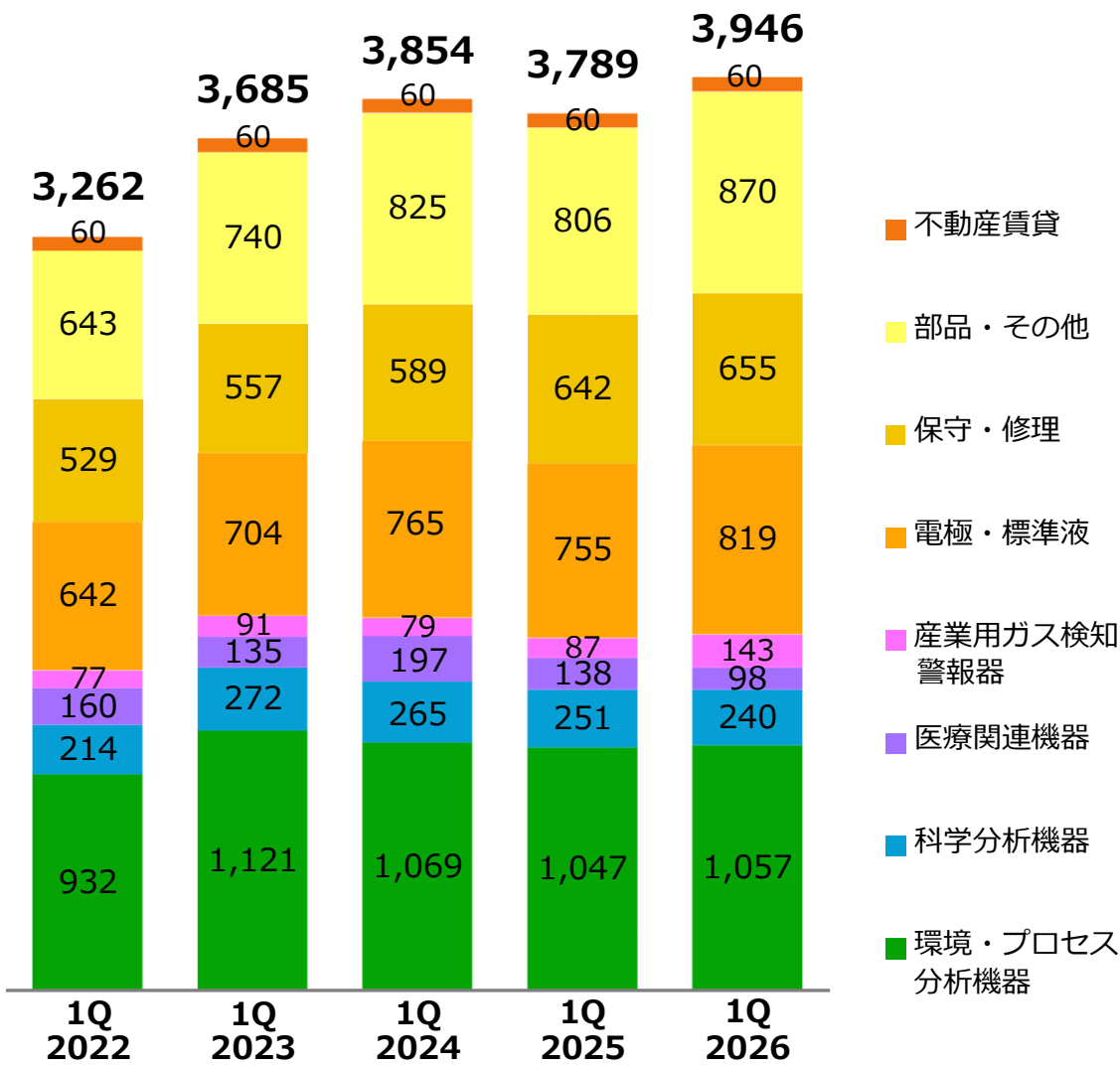
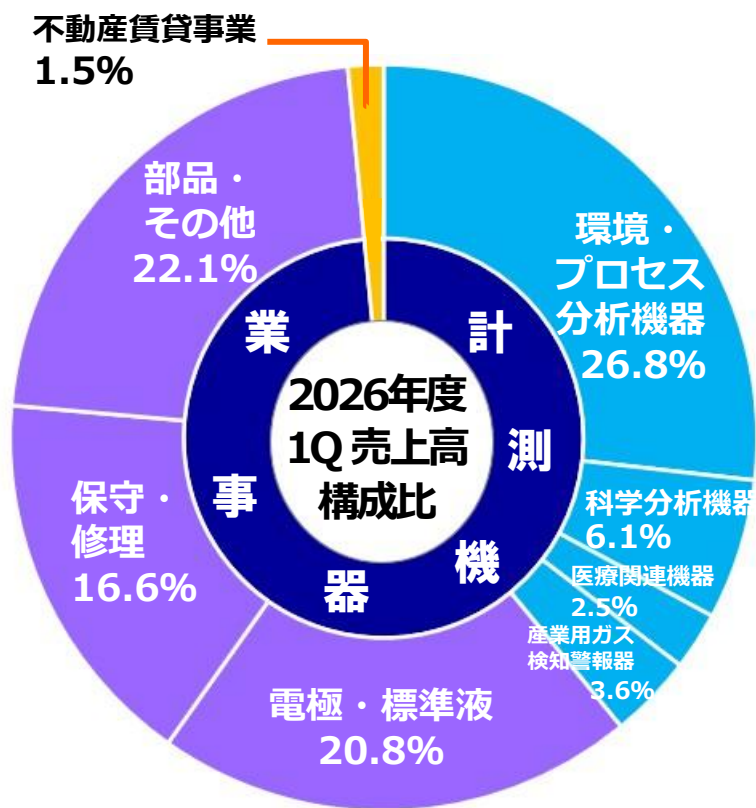


(単位:百万円)



売上高の分野別構成比と推移

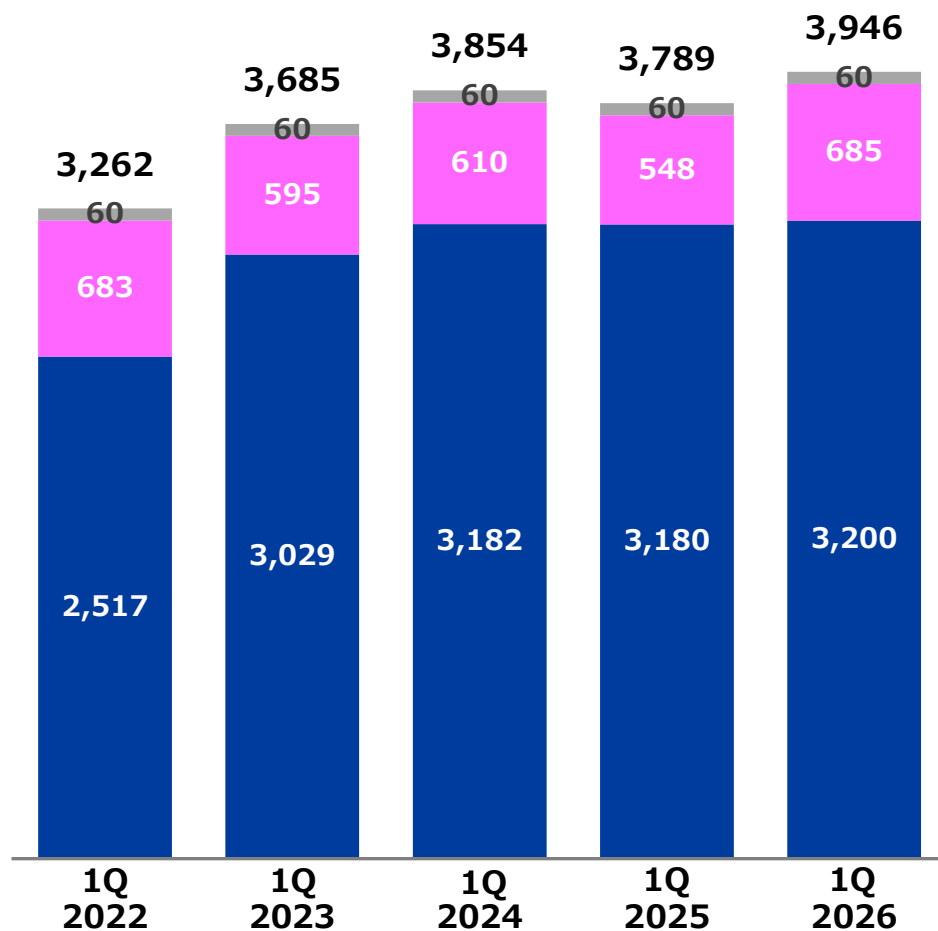
(単位:百万円)



(単位:百万円)

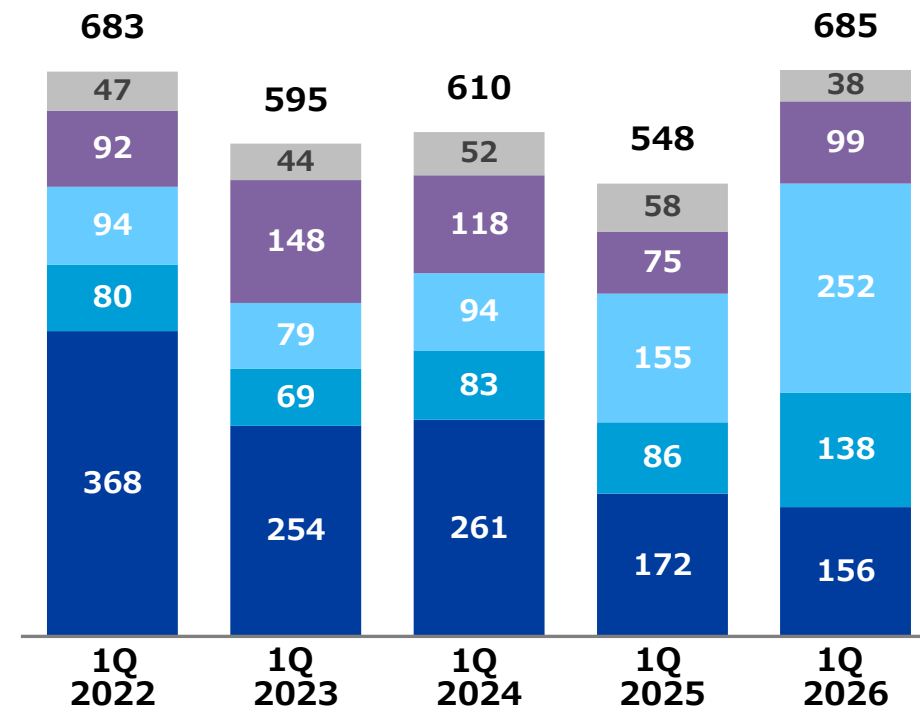
国内外の売上高

■ 計測機器：国内 ■ 計測機器：海外 ■ 不動産賃貸



海外の国別売上高

■ 中国 ■ 韓国 ■ 台湾 ■ その他アジア ■ その他



- 本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 本資料の金額は、表示単位未満を切り捨てているため、合計が合わない場合があります。
また、比率は円単位で算出し、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%とならない場合があります。
- 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。
- 業績等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆さまがいかなる目的にご利用される場合においても、皆さまご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

■ お問い合わせはこちらから <https://www.toadkk.co.jp/contact/ir/>

■ 当社Webサイト IR情報ページ <https://www.toadkk.co.jp/ir/>